

## 第5学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成26年6月18日(水) 5校時 体育館

2. 議題 「2014ワールド5-1運動会をしよう」

3. 議題について

学級目標： めあてをもって挑戦する子 温かい子
-------------------------

### (1) 児童の実態

男子11名、女子11名合計22名のクラスである。穏やかで、楽しく学校生活を送っている。ルールや約束事を守ろうとする意識が高く、決められたことに対して実行していこうとする姿勢がある。男女の仲もよく、休み時間には一緒にゲームをして楽しむ姿も見られる。周りで意識されていない仲間がいると声をかける優しさもある。これらのよさを活かすとともに、この一年間で、高学年として、臨機応変な対応や自主的に判断し行動する力をさらに伸ばしていきたいと考え、学級目標は「めあてをもって挑戦する子 温かい子」となった。

学級会については、昨年度までの経験を基に、話合いの流れを理解し、司会グループを中心に進めることが身に付いている。意見をまとめたり決めたりする段階になると、アイデアを出したり、相手の意見に合わせたりして、折り合いをつけて決定しようとする姿が見られる。第2回の学級会では、転校生の歓迎会の計画を立てる話合いに取り組んだ。それぞれが意見を持ちながらも、友だちの意見を聞いて自分の意見を変えたり、転校生のことを考えたりする発言が見られた。さらに今年度は、自分の意見を述べるだけでなく、直前に出た友だちの意見に対してつなげていくような発言をより大切にしていきたいと考えている。

### (2) 議題の選定

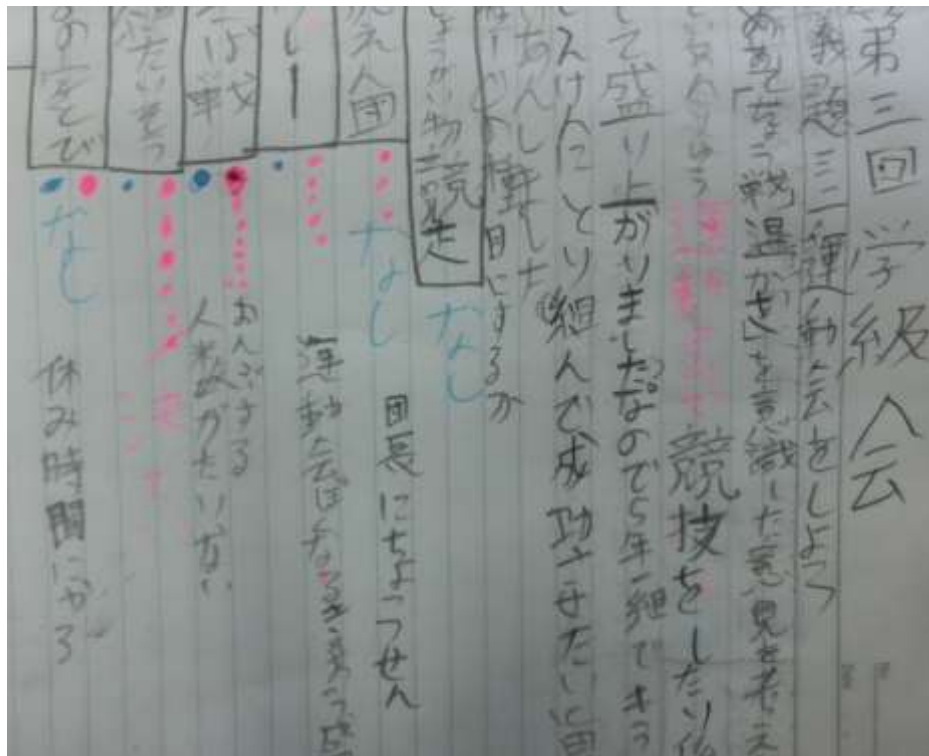
5月に行われた運動会では、大変な盛り上がりを見せた。高学年として取り組んだ種目(組み体操や騎馬戦等)が成功した喜びとともに、6年生と自分たちが各係の中心となって、運動会を進行し、やり遂げたことに充実感を味わったようである。運動会後も、校庭で遊んでいる姿の中に騎馬戦を模倣した遊びをしている姿もあった。また、運動会の係の成果か、委員会活動での動き方が変わってきた。これまで、6年生に促されて活動する場面が多かったが、自主的に動き出す児童が出始めてきた。

議題を集めていく中で、5年1組だけの運動会はできないだろうか、という声があがった。提案者からの「一生懸命に取り組みたい」「真剣に取り組みたい」という思いを受け止め、今の子どもたちにとって学級目標を目指していくうえで相応しい議題と考え、本議題を選定した。

### (3) 学級会(話合い)の様子

次のようなめあてと提案理由で学級会を行った。めあて、「ちょう戦、温かいを意識した意見を考えよう」。提案理由、「運動会で競技をしたり、係をしたりして盛り上がりました。なので、5年1組でもう一度真剣に取り組んで成功させたいと思い、提案しました」。上記のめあてに沿った発言が多く出されていく中で、組体操がすぐに決まった。もう一つは、リレーと騎馬戦で意見の交換がなされたが、どちらも十分に意見を出し尽くした形となり、多数決をして騎馬戦に決まった。多数決での決定は初となる。

板書記録



4. 評価規準

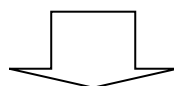
集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
○役割意識をもち、自主的に準備や練習をしようとしている。 ○集会の内容や参加の仕方をふり返ろうとしている。	○見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。 ○集会のねらいに沿って創意工夫を活かしながら一生懸命活動している。	○集会活動の意義や運営方法について理解している。 ○効率的な役割分担の仕方が分かっている。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 自分もよく、みんなもよい

～聞き合い、折り合い、分かち合い～



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

## 教師の思い

今回の話し合いでは、最後に僅差で決まった種目がある。共に、めあてに沿った発言が出ていた。さらに、日頃はあまり発言しない児童もこれを決める場面では積極的に意見を述べていた。それだけこの議題について自分なりの思いがあったと言える。

この子どもたちの前向きな姿勢を本時でも活かしていくためにも、話し合いの結果を受けた子どもたちが集会に向けて取り組む様子を見取っていききたい。現在、各係で集会に向けての準備が始まったところである。また、「挑戦」「温かさ」を掲げた組み体操、騎馬戦の練習も始まった。当然、うまくいくことばかりではない中で進んで取り組んでいる様子も伺える。話し合いの中で別の意見を希望していた子、あまり積極的な発言はしていなかった子が、この準備期間と当日にどのような姿を見せるのか

## テーマに迫るための手立て

### 学級会（話し合い活動）

提案者・司会グループとは事前に打ち合わせを重ね、安心して進行できるようにした。他者の考えを受け止めるために、前の発言を受けて意見がないか尋ねるように促した。司会グループが発言者と黒板を共に意識できるように、司会グループの座席を黒板の向かいにした。話し合いが混乱しないように、一つの競技ずつ意見を求めていくよう打ち合わせをした。常に、めあて（挑戦・温かさ）を意識するよう声をかけた。

### 準備・練習

活動の様子を見守っていくことで、折り合いや分かち合いの様子を見取っていく。話し合い活動の時と準備時に様子の違う児童がいれば、その様子を注意深く観察する。休み時間は委員会活動など仕事をもつ子も多いので、全体に関わる練習は、朝の時間や放課後に練習時間を計画する。グッズなどのアイデアはクラス全体からも募ったり、学校で紹介されているものを促したりする。活動全体の見通しをもたせることで、計画的に準備や練習ができるようにする。

### 集会活動

計画的に進められるように教師も練習に関わっていく。一人一人の役割を明確にし、係の仕事に責任をもって活動できるようにする。活動をふり返る場を設け、お互いのがんばりやよさを認め合えるようにする。「先生の話」では、本時の活動だけではなく、話し合いから、準備・練習、当日にいたる子どもたちの姿を賞賛する。

## 6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月4日 休み時間	提案者・司会グループと担任で、議題の確認をし、学級会のめあてや役割分担の計画を立てる。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合うことで、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月6日 特活タイム	クラスに議題と提案理由、学級会の柱を伝える。 議題に対するアンケートをとる。	○一人一人が自分の考えをもてるようにするために、議題や提案理由を伝えておく。 ○学級会へのイメージがもてるように、話合いの柱を確認する。 ☆学級会のめあてと意見を考えている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月6日 休み時間	アンケートの集約をする。 「集める」段階の意見の精選をする。	○提案理由に沿った意見かどうか確認することで、意見の精選の基準とする。 ○意見を分類整理することで、話合う時にスムーズになるようにする。
6月9日 休み時間 放課後	提案者と司会グループと担任で学級会のながれを話し合う。 役割分担に従ってシミュレーションを行う。	○流れを確かめられるように学級会の場面と一緒にイメージしていく。 ☆担任とともに学級会の進め方を考えている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
6月10日 特活タイム	集めた意見をクラスに提示し、共通理解をはかる。	○整理をした意見の中で、今回取り上げられなかった意見には説明をする。また、比べられないものには、分けて考えるように伝える。
6月10日 学級活動	学級会をする。	○話合いがそれてきた時には、めあてに沿って考えるよう全体に伝える。 ☆友だちの意見を聞き、それを受けて意見をつなげている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月11日～ 17日 特活タイム 休み時間 放課後	5-1運動会の準備や練習をする。	○必要な物や使いそうな物を用意しておく。 ○活動が工夫できるように助言をする。 ☆決定したことについて、自主的に準備や練習を実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

- ①ねらい お互いの役割を認め合い、挑戦・温かさ（助け合い）を意識して活動している。
- ②本時の視点 ねらいを意識して集会に取り組む様子が見られたか。  
折り合い、分かち合いの様子が見られたか。
- ③活動計画 別紙（プログラムに代用）
- ④活動の留意点

児童の活動	評価（☆）と支援（○）
<p>プログラム1. はじめの言葉</p> <p>プログラム2. エール（応援団）</p> <p>プログラム3. き馬戦（団体戦）</p> <p>プログラム4. 組み体操 演目：サボテン      ピラミッド         全員おうぎ      三段タワー</p> <p>プログラム5. 表しょう         表しょう者：         受け取る人：</p> <p>プログラム6. 感想発表：</p> <p>プログラム7. 先生の話</p> <p>プログラム8. 閉会の言葉</p>	<p>○集会がスムーズに進むように、自分たちの役割とめあてがわかって取り組めるように確認しておく。 ☆自分の役割やめあてを理解している。 （集団活動や生活についての知識・理解）</p> <p>○各演目では、安全面に留意して取り組むよう声をかける。 ○組み体操では、安全面を考えてマットを用意する。 ☆話合いで決定したことを受けて、ねらいに沿って活動しようとしている。 （集団の一員としての思考・判断・実践）</p> <p>○「楽しかった」のような感想にならないよう、めあてに沿っていたか、次に活かせることは何かを考えた感想発表になるよう声をかける。 ☆当日や準備の姿勢をふり返ろうとしている。 （集団生活や生活への関心・意欲・態度）</p> <p>○実践の中で分かち合いが見られたところや、準備の段階での様子を伝え、次への意欲が高まるようにする。</p>

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）
<p>6月19日 朝の会</p>	<p>ふり返りカードを書く。</p>	<p>○集会のよかったところと次時の活動に活かせる内容をふり返るよう伝える。 ☆学級全体での活動の仕方、自分や友だちの態度について互いにふり返り、次の活動に活かそうとしている。 （集団の一員としての思考・判断・実践）</p>